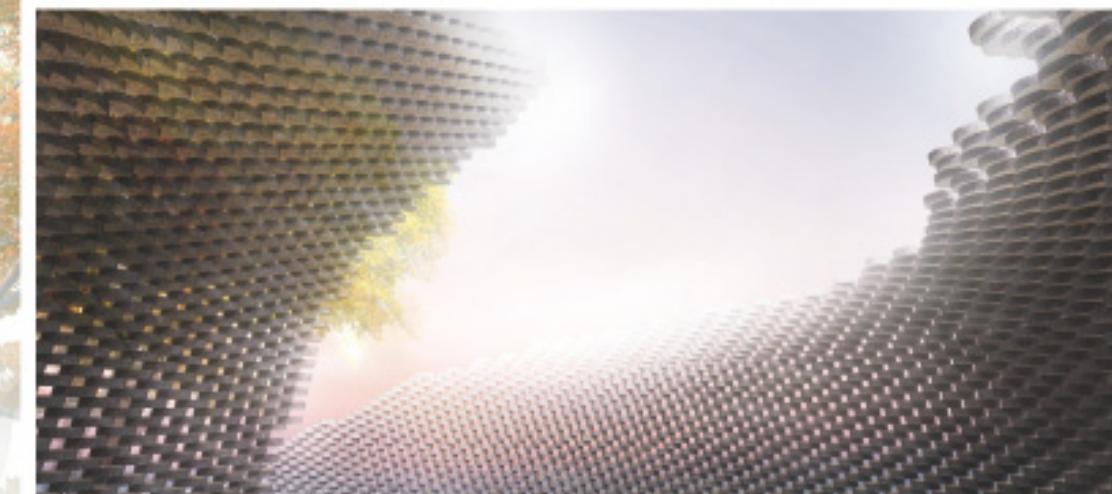


## A FUTURE BIT

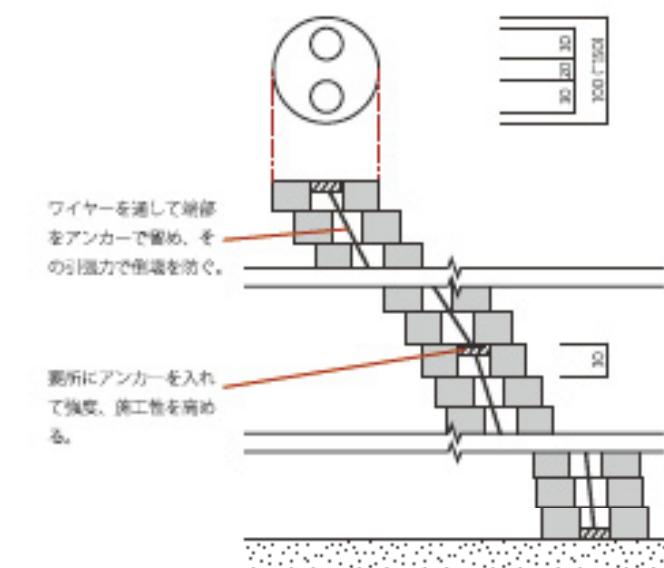
日本は資源大国である

この提案は複数の建材を委共し  
さまざまな場面で建設・解体・応用を繰り返すことで  
サスティナブルな世界を構築する

それは資源大国を自負するための大きな一步となる



薄切り丸太の組積は、石・レンガ・コンクリートとは違い、側面と底面で異なる表情を持つ。



ワイヤーを通して端部  
をアンカーで留め、そ  
の引張力で倒壊を防ぐ。

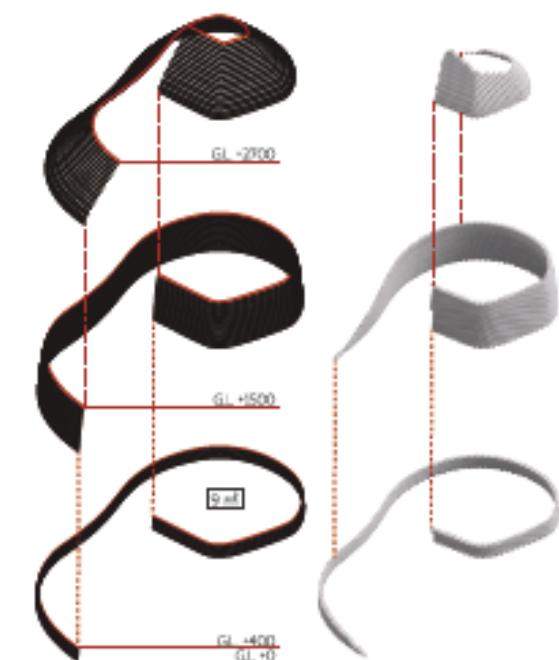
要所にアンカーを入れ  
て強度、施工性を高め  
る。

間伐材丸太という細く不均一な素  
材を、薄く輪切りにし、さらに施  
工用の穴を規格化することで、材  
として安定させる。

施工工程を単純・汎用化し、容易  
な建設・解体を行う。また材の再  
利用によって、建設されたフォ  
リーはそれ自身が材のストック  
ヤードにもなる。

DETAIL S-15

CONCEPT



積み方によって自由にプランや機能  
を与えることができるこの建築  
のプロトタイプを示す。

GL+1200 前後では、カウンター  
テーブルなどとして機能する。

GL+400 前後では、ベンチや低  
いテーブルなどとして機能する。

これらはそれぞれ独立して設置して利用  
することができる自在性を持っている。

PLAN IMAGE